

# HAGI Times

## Contents

- 姫路初の避難勧告と市の対応
- よくある質問コーナー
- 5回目の一般質問
- HIMEJI 今昔物語…
- 東日本大震災被災地視察



### 姫路初の避難勧告と市の対応

今年は、東日本大震災だけでなく、日本列島で大きな自然災害が多く発生しました。

特に、9月に発生した台風12号及び15号は甚大な被害をもたらしました。

姫路市でも、9月2日から5日の朝にかけて台風12号の影響を受け、38棟が床上浸水になったのをはじめ、144箇所が床上浸水、814箇所が床下浸水、道路冠水が17箇所などここ数十年でも稀な被害が発生しました。

また、姫路の行政史上始めて避難勧告等が発令され、延べ800人の方が避難をされました。

幸い地元の自治会や消防団の夜を徹しての活動により、ケガ人や亡くなられた方などの人的被害はなかったものの、多くの物的被害が発生し、また、避難勧告の出し方、避難所運営の方法など多くの課題が浮きぼりになりました。

9月の私の一般質問では、避難勧告等について市民への周知徹底や、情報伝達手段について、また、避難所の体制強化について当局の考えを質しました。

また、被害が出ているにもかかわらず避難勧告等が出ていなかったところもあったことから、避難勧告発令の基準についても質問しました。さらに、道路、河川、農地などの災害箇所の早期復旧を要望いたしました。

その後、避難勧告など市民への周知徹底については、10月の広報ひめじに掲載されました。また、11月には、ヤフーと災害発生時の連携協定を結ぶなど情報伝達の方法でも進展がみられました。さらに、災害復旧工事についても国の補助事業だけでなく市による単独事業をできるだけ増やすなど、市民の皆様の暮らしを少しでも改善しようという動きが見られます。しかし、まだ十分とはいえません。避難勧告の出し方の基準や避難所での体制、市川など県管理河川の改修など今後も強く要望していきます。

警戒水域を越えた市川の様子▶



## HIMEJI 今昔物語

現在、新しい駅前広場と新駅ビル建設に向け、取り壊し工事が続く姫路駅ビル。幼少の頃、両親に連れられ訪れた思い出深い場所であり、中でも屋上の遊園地にはワクワクしたものです。そういった意味では感慨深いものもありますが、一つの時代の終わりであり、また始まりでもあります。



▲ 修理中の姫路城と建設の進む姫路駅ビル。街の息吹を体感する



▲ 昭和の大修理

▼ 平成の大修理



▲ 昭和34年の姫路駅(姫路民衆駅)

▼ 平成25年完成予定の姫路駅



この駅ビルは全国で23番目の民衆駅として昭和34年11月に誕生しました。太平洋戦争により焼け野原と化した主要都市や駅。この復興のために国と地元が共同で開発し、また商業施設を併設した駅を「民衆駅」と呼びます。この頃には汽車の電化も進められ、まさに時代は音を立てて近代化への道を突き走っていたわけです。

当時、鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階(一部6階)の駅ビルは、非常に現代的でスマートなビルとして脚光を浴びていたと聞きます。そしてその同時期、奇しくも姫路城も「昭和の大修理」の最中にあり、時代と行き交う人々は違うものの、平成の大修理と新駅ビル建設を進める今の光景は似ているのではないかと、当時の人の思いと重ね合わせています。

平成25年完成を予定している新駅ビルは、観光と商業、街と人、人と環境を考え周辺の道路交通網も併せて生まれ変わります。400年の時を超えて、なお輝きを増す姫路城とともに、新たな姫路の玄関としての大きな役割を担ってまいります。



### 編集後記

2期目の議会へ送っていただいてから早8ヶ月が終わろうとしています。改めて、皆様に深く感謝申し上げます◆今年の流行語トップテンの中に、「絆」「3・11」「風評被害」など5つの震災関連の言葉が入りました。1日も早い復興を願わずにはられません◆先日、橋下大阪市長が誕生しました。政治手法については賛否両論がありますが、民意が変化を求めていることがはっきりしました。我々も、市民の皆さんの思いをしっかりと伝える役割を担っていかねばなりません◆今回、初めて、編集会議を開いて、市政報告を作成しました。会議の中では、会報の中身だけでなく、これからの姫路市や地域のもつ課題も話し合われました。今後も、定期的に会議を開き、皆様に市政報告という形でお知らせしていきたいと思っています。



# 平成23年 第3回 姫路市議会定例会での質問 〈抜粋・要約〉

## 高齢者の方とともに築く生涯現役社会のために

**質問** 団塊の世代が退職時期を迎え、これからますます高齢化が加速度的に進行していくことが予想されている。今後、社会保障費の増加とどう向き合っていくかは重要な課題である。一方で、社会保障費をいかにして使わないようにするか、つまり高齢の方が、元気で生きがいをもって病気にかからず、介護を受けることなく生活していくかは市政運営にとっても大変重要な取り組みである。そこで、各地域で行われている生涯現役の取り組みへの支援について質問を行った。

**答弁** 平成22年3月に姫路市生涯現役推進計画を策定し、各地域の老人クラブや老人クラブ連合会と緊密に連携を図りながら、活動に必要な支援を積極的に行っている町もあります。また、地域においては、老人クラブ以外でも、従来の地域型ではなく、目的や志を同じくする仲間が集まり、生涯現役社会の実現に向けた活動を行っている高齢者の団体もある。今年度から市では、このような団体の活動を支援するシニア社会貢献活動助成事業を開始したところである。今後、各地域でこのような活動を目指す団体があれば、制度の中で支援を行っていく。

**その後** 生涯クラブの主催で、体力測定を行い、健康管理と生涯現役につなげる取り組みを行っている町もあります。まずは、病気にかからず、健康で長生きをして、社会活動を行っていただくことが大切です。また、高齢の方が相互に支援をし合えるシステムの確立にも取り組んでいきたいと思います。



## 農業振興センターについて

**質問** 平成20年度から本格的に始まった農業振興センターの整備が、いよいよ終盤にさしかかっている。農業への関心の高まりや地産地消の施策の推進、また、地域の活性化のためにも農業振興センターの活用は重要である。そこで、直売所の整備計画及び整備後の活用方法などについて質問を行った。

**答弁** 今年度、農業振興センターの直売所は、旧農機具倉庫を改修した。また、直売所として整備を行い、農家の販売機会の提供のほか、帰農塾生の販売実習の場や休憩所など多目的な施設として利用できるように考えている。今後は多くの市民の方にPRしていく。

**その後** 現在、整備中の直売所は、まもなく完成し、来年度から本格的に運営される予定です。芝生広場も整備されますので、是非、皆様も足を運んでください。



## 7月～10月の萩原ただすけの活動報告

- 2011年7月**
- 6日～8日 東日本大震災の視察 (石巻市・気仙沼市・南三陸町・陸前高田市)
  - 17日…… 社会福祉協議会豊富支部総会・姫路市防衛議員懇談会
  - 23日…… ふれあいの郷夏祭り

- 2011年8月**
- 6日…… 姫路市お城祭り、盆踊りなど
  - 9日～10日姉妹都市交流(鳥取市)
  - 13日…… 白陵高校野球部OB会
  - 15日…… 姫路市戦没者追悼式
  - 26日…… 平成22年度決算説明会、会派総会 (予算要望について)
  - 30日…… くれさか環境事務組合議会

- 2011年9月**
- 1日…… 姫路市総合防災訓練(大津イオン)
  - 2日…… 姫路市議会9月定例会開会
  - 3日…… 台風12号襲来
  - 11日…… 山田校区敬老会
  - 12日…… 一般質問(改選後初、通算5回目)
  - 15日…… 建設委員会
  - 16日…… 総合交通特別委員会
  - 18日…… 豊富中学校運動会
  - 19日…… 船津校区子ども会相撲大会、船津校区敬老会
  - 21日～29日 一般会計決算特別委員会
  - 23日…… 小学校運動会(水上、山田)
  - 25日…… 豊富小学校運動会

- 2011年10月**
- 5日…… 姫路市議会9月定例会閉会
  - 9日…… 甲八幡神社秋祭り
  - 24日～27日 会派来年度予算要望会

# 東日本大震災の被災地を視察

東日本大震災で被災された皆様に、改めて心からお見舞い申し上げます。



▲ 派遣された姫路市職員に説明を受ける。

7月6日から8日の3日間、東日本大震災である仙台市、宮城県の石巻市、女川町、気仙沼市、南三陸町、そして岩手県の陸前高田市を訪問しました。

石巻市は、自治体の中で最も犠牲者が多く出ており、被災された方の生活もまだまだ日常には程遠い状態でした。姫路市は、県が進める被災地支援のシステムにより石巻市を支援しており、派遣されている姫路市の職員の方からも話を聞く



▲ 更地になった街に掲げられた力強いスローガン

ことができました。

今後も姫路市としてできる限りの支援を続ける必要があります。また、姫路市でも津波への対策強化を中心にこれまで以上の防災対策を進めていますが、今回の被災地支援から得たものを十分にフィードバックする必要があると感じます。



▲ 南三陸町役場



▲ 横倒しになった女川町のビル



萩原ただすけがお答えします!

## よくあるご質問

質問はいつでも受け付けてます! お気軽におたずねください!

**Q** 市議会議員は、議会のないとき、どんな仕事をしているのですか?

**A** 姫路市議会は、年4回、6月、9月、12月、2月～3月の4回開催されます。それ以外のときも、市役所に行き、市の職員の方に意見や提案をしたり、議論を重ねたり、あるいは必要なことについて調査を行います。また、次年度予算についての要望会を行ったり、市内、市外の視察を行ったりします。市民の皆様が市役所に来られて意見をお聞きすることもあります。是非、皆さんもお越しください。

**Q** 地産地消という言葉をよく聞きますが、姫路市では具体的にどんなことをしているのですか?

**A** 地産地消は、食の安全安心と農業の活性化のために全国的に多く取り組まれています。姫路市でも学校給食の地産地消を進め、お米については100%姫路米を使い、その他にも、ねぎやたけのこ、レンコンなど地元食材がたくさん使われています。しかし、まだまだ十分な取り組みとはいえません。私たちは、給食の献立を細分化しても、地元食材をもっと多く使う取り組みをするべきだと要望しています。また、地元の産物を販売する直売所は、生産者の顔が見え、安全な食材が手に入るということで喜ばれ、市内ではJAが書写に続き飾磨にも出店するようです。また、山田町の農業振興センターに、まもなく直売所が整備されることになっています。地産地消の政策はまだまだ発展途上ですので、これから推し進める必要のある課題だと思っています。

